

「安心」につながる社会保障の充実を目指します！！

～田村憲久前厚生労働大臣及び介護事業従事者の皆さんと懇親会を開催～



左からたばた、田村前厚労大臣

（田村 談）本年4月からの介護報酬改定では大変ご迷惑をおかけしております。2、27%の削減は非常に厳しいものです。基本報酬は削減しているが、加算では報酬がさがらないようになっていきます。一番厳しいのは、特養・

（たばた 談）本日は、皆様ありがとうございます。さて今後の医療・介護ニーズに対応していくために全ての方が、その状態に応じて適切な場所で適切な医療・介護を受けられるよう、在宅医療や介護施設、高齢者住宅等の確保が必要であります。また、仕事と介護の両立にむけた支援制度の充実も喫緊の課題です。本日は、田村先生をお迎えし、介護に携わる方々よりご意見を拝聴させていただきたいと思

（富山県老人福祉施設協議会様より）健全な施設経営を心掛けていますが、介護報酬改定のために報酬引き下げが起ると経営が厳しく破綻していくことが予測されます。介護従事者の処遇改善にかかる交付金は、国の方で手厚くなりつつあり、しっかりと我々も応えてまいります。

（富山県介護福祉士会様より）介護人材について話します。人材不足について、事業者によっては不足しています。目標に対する具体的な内容がないことが課題です。人材研修では、中堅の制度がなく無資格では困難なクレームが多く、プロとして学べる環境作りが必要です。外部研修を受講するにしても事業所によっては人材が出せないことも現実です。また、指導者を育てる研修制度を充実してほしいと感じています。中途採用では、働きながら学べる環境がない為、続けて学び続ける介護福祉士も大変です。就労しながら学校に行ける環境整備があると勉強していく介護福祉士も増えていくと思います。

（たばた 談）各地の福祉人材センターの機能強化とハローワークとの連携を図り、介護福祉士の有資格者の人材バンク、介護福祉士の把握を推進していきます。どこに住んで

（富山県ホームヘルパー協議会様より）人材確保についてです。介護予防の取り組みが進んできているとは言え、介護者が在宅で生活していくには、ホームヘルパーの力が必要であり、潜在有資格者の発掘が大事です。一方、報酬をみて面接を断念した事例があります。多職種の連携によって医療ニーズが高く認知症があっても在宅で過ごすことができる体制づくりをお願いします。



（たばた 談）様々なご意見ありがとうございます。施設、在宅ともに介護人材不足は全国的な傾向です。介護ロボット開発にも国は力を入れています。なんといいっても介護予防が重要です。4月から予防給付が市町村に移ったことは大きく、地域の実情にあったきめ細かなサービス展開が一步ずつ進んでほしいと思います。私自身は町づくりだと思っています。地域包括ケアネットワークづくりを推進し、安心につながる福祉の基盤を構築いたします。本日は、誠にありがとうございます。

（たばた 談）様々なご意見ありがとうございます。施設、在宅ともに介護人材不足は全国的な傾向です。介護ロボット開発にも国は力を入れています。なんといいっても介護予防が重要です。4月から予防給付が市町村に移ったことは大きく、地域の実情にあったきめ細かなサービス展開が一步ずつ進んでほしいと思います。私自身は町づくりだと思っています。地域包括ケアネットワークづくりを推進し、安心につながる福祉の基盤を構築いたします。本日は、誠にありがとうございます。



（たばた 談）様々なご意見ありがとうございます。施設、在宅ともに介護人材不足は全国的な傾向です。介護ロボット開発にも国は力を入れています。なんといいっても介護予防が重要です。4月から予防給付が市町村に移ったことは大きく、地域の実情にあったきめ細かなサービス展開が一步ずつ進んでほしいと思います。私自身は町づくりだと思っています。地域包括ケアネットワークづくりを推進し、安心につながる福祉の基盤を構築いたします。本日は、誠にありがとうございます。

（たばた 談）様々なご意見ありがとうございます。施設、在宅ともに介護人材不足は全国的な傾向です。介護ロボット開発にも国は力を入れています。なんといいっても介護予防が重要です。4月から予防給付が市町村に移ったことは大きく、地域の実情にあったきめ細かなサービス展開が一步ずつ進んでほしいと思います。私自身は町づくりだと思っています。地域包括ケアネットワークづくりを推進し、安心につながる福祉の基盤を構築いたします。本日は、誠にありがとうございます。

自由民主党 衆議院議員

ひびき新聞

たばた裕明

ひろあき

ひびき新聞

平成27年秋 特別号

たばた裕明

プロフィール

昭和48年1月2日生まれ（42歳）富山市北代在住。富山市立長岡小、呉羽中、県立富山東高校（野球部）卒業、獨協大学経済学部卒業、地元の銀行勤務（平成7～14年）、富山市議会議員連続3期当選（平成15～23年）、富山県議会議員（平成23～24年）、衆議院議員（平成24年～）、現在 衆議院厚生労働委員会委員、自民党厚生労働部会副部会長、自民党経済産業部会副部会長

東京事務所 〒100-8982 千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第二議員会館214号室 TEL 03-3508-7704 FAX 03-3508-3454

富山事務所 〒939-8202 富山市西田地方町2丁目12-4 ケイ・ディックビル2階 TEL 076-421-1411 FAX 076-421-1422